

グループ討議	事前課題	特別な持ち物
×	×	×

ChatGPT 等生成 A I の導入・活用と法的リスク解説講座

～大企業・中小企業を問わず要注目！生成 AI の具体的活用方法と法的リスクを分かりやすく解説～

講座時間

13:00～16:30（半日）／会員 1 名:15,400 円（税込）、一般 1 名:30,800 円（税込）

講師名

牛島総合法律事務所 弁護士 影島 広泰 氏

対象

法務・総務・ITシステム部門の担当者の方

ねらい

先進的な AI 技術の一つである ChatGPT の登場を契機に、生成 AI を業務に活用する動きが加速しています。技術の進化はビジネスの効率化、生産性向上や新たな可能性を開く一方で、法的なリスクも伴います。

本講座では、生成 AI が回答を生成する仕組みや活用方法をデモを交えて解説し、具体的な法的リスクとその対応策を詳しく、分かりやすく解説します。

講座カリキュラム

1. 生成 AI・ChatGPT とは

- どのような仕組みで「それらしい」文章を生成しているのか？
- 上手い「質問」（プロンプト）の入力による積極的な活用（プロンプト・エンジニアリング）【デモ】
- 自社のデータを使って ChatGPT に回答させることはできるのか（追加学習）【デモ】
- GPT を使って自社内の文書や顧客の質問から類似したものを検索して生成する（RAG：検索拡張生成）【デモ】

2. 生成 AI と個人情報保護法

- プロンプトに入力する場面①：回答を得る対象として入力する場合
- プロンプトに入力する場面②：RAG に個人情報を利用する場合
－個人情報保護法（仮名加工情報の活用）
- 追加学習の学習用データとして入力する場合
- 生成された回答を業務で利用する場合
－個人情報保護法

3. 生成 AI と著作権法

- プロンプトに入力する場面①：回答を得る対象として入力する場合
- プロンプトに入力する場面②：RAG に著作物を利用する場合
- 追加学習の学習用データとして著作物を入力する場合
- 生成物を業務で利用する場合
－生成 AI を使ってプログラミングするケース
－生成された画像等の利用

4. その他の法律問題

- 他社から預かったデータの利用
- 商標法、不正競争防止法等

5. 社内ルールを作る際のポイント

- AI 事業者ガイドライン
- ルールで定めるべきポイント

※内容は一部変更になる場合がございます。